

# 総合原価計算 第10問 問題

当社は組別総合原価計算を行っており、加工費は直接作業時間を基準として予定配賦している。次の資料にもとづいて、平均法を用いて完成品総合原価を計算し、完成品単位原価を求めなさい。

(資料) ① 当月生産データ

	A組製品	B組製品
月初仕掛品	200 kg (60%)	160 kg (80%)
当月投入	<u>2,650</u>	<u>2,120</u>
合計	<u>2,850 kg</u>	<u>2,280 kg</u>
月末仕掛品	150 kg (70%)	120 kg (50%)
完成品	<u>2,700</u>	<u>2,160</u>
合計	<u>2,850 kg</u>	<u>2,280 kg</u>

(注1) ( )内は、仕掛品の加工進捗度を示す。

(注2) 原料はすべて工程の始点で投入される。

② 月初仕掛品原価

	A組製品	B組製品
原料費	334,400 円	204,800 円
加工費	<u>222,900</u>	<u>202,200</u>
合計	<u>557,300 円</u>	<u>407,000 円</u>

③ 当月製造費用

	A組製品	B組製品
原料費	4,368,100 円	2,804,800 円

④ 当月直接作業時間

	A組製品	B組製品
直接作業時間	3,180時間	2,100時間

⑤ 加工費予定配賦率 1,500 円/時間

	A組製品	B組製品
月末仕掛品原価	円	円
完成品総合原価	円	円
完成品単位原価	円/kg	円/kg

# 総合原価計算 第10問 模範解答

	A組製品	B組製品
月末仕掛品原価	434,400 円	249,000 円
完成品総合原価	9,261,000 円	6,112,800 円
完成品単位原価	3,430 円/kg	2,830 円/kg

## 【解説】

加工費予定配賦額（加工費当月製造費用）

$$\text{A組製品} \quad ; \quad 1,500\text{円/h} \times 3,180\text{h} = 4,770,000\text{円}$$

$$\text{B組製品} \quad ; \quad 1,500\text{円/h} \times 2,100\text{h} = 3,150,000\text{円}$$

A組製品生産データ

200	120	2,700	2,700
2,650	2,685	150	105

B組製品生産データ

160	128	2,160	2,160
2,120	2,092	120	60

### A組製品総合原価計算表

(平均法)	数量	原料費	加工換算量	加工費	合計
月初仕掛品	200	334,400	120	222,900	557,300
当月投入	2,650	4,368,100	2,685	4,770,000	9,138,100
合計	2,850	4,702,500	2,805	4,992,900	9,695,400
月末仕掛品	150	247,500	105	186,900	434,400
完成品	2,700	4,455,000	2,700	4,806,000	9,261,000

$$\text{完成品単位原価} \quad ; \quad 9,261,000\text{円} \div 2,700\text{kg} = 3,430\text{円/kg}$$

### B組製品総合原価計算表

(平均法)	数量	原料費	加工換算量	加工費	合計
月初仕掛品	160	204,800	128	202,200	407,000
当月投入	2,120	2,804,800	2,092	3,150,000	5,954,800
合計	2,280	3,009,600	2,220	3,352,200	6,361,800
月末仕掛品	120	158,400	60	90,600	249,000
完成品	2,160	2,851,200	2,160	3,261,600	6,112,800

$$\text{完成品単位原価} \quad ; \quad 6,112,800\text{円} \div 2,160\text{kg} = 2,830\text{円/kg}$$